



## 2019年度 町田第二地区 市政懇談会

### 次 第

[日時] 2019年10月21日(月) 18:00~20:00

[場所] 町田市庁舎 市民協働おうえんルーム

司会進行： 市民協働推進担当部長 平林 隆彦

町田第二地区町内会・自治会連合会 副会長 越水 淳

#### ○ 連合会長の挨拶

町田第二地区町内会・自治会連合会 会長 中 一登 (5分)

#### ○ 市長の挨拶

町田市長 石阪 丈一 (5分)

#### ○ 職員の紹介

(5分)

#### ○ 市政懇談会について

(5分)

#### 第1部 地域からの議題に関する意見交換

(55分)

##### 1 道路施策について

【道路部】

##### 2 特殊詐欺被害対策について

【防災安全部】

##### 3 市内小・中学校の熱中症対策について

【学校教育部】

##### 4 市立小・中学校の適正規模、適正配置について

【学校教育部】

##### 5 市立博物館の跡施設について

【文化スポーツ振興部】

#### 第2部 市政全般に関する意見交換

(40分)

市長からの市政報告

#### ○ 閉会の挨拶

(5分)

町田第二地区町内会・自治会連合会 副会長 新井 邦夫

**2019年度 町田第二地区 市政懇談会  
議事録(要旨)**

[日 時] 2019年10月21日 (月) 18:00～20:00

[場 所] 町田市庁舎 2階 市民協働おうえんルーム

[出席者] 石阪市長

政策経営部広報担当部長 若林

道路部長 福田

学校教育部長 北澤

市民部市民協働推進担当部長 平林

防災安全部防災課長 星野

文化スポーツ振興部文化振興課長 神谷

市民部市民協働推進課長 中坪

市民部市民協働推進課担当課長 (地域担当) 市川

市民部市民協働推進課(3名)

町田第二地区町内会・自治会連合会長 ほか19名

司会進行：市民協働推進担当部長

町田第二地区町内会・自治会連合会副会長

**○地区連合会長の挨拶**

こんばんは。今日は第二地区町内会・自治会連合会の市政懇談会ということで、石阪市長を初め各部長、課長に出席いただき、これから第二地区として課題等をお互いに話し合っ、何か得るものがあればいいなと思います。実は、丸くなって顔が見えて懇談ができるようにと思っておったのですが、町内会・自治会連合会の数を見ると人数が多いものですから、あえてこういう形にさせていただきました。

今日はあくまで懇談会ですので、市と町内会・自治会連合会、あるいは町内会が対峙するような話し方はお互いにやめて、何とか第二地区、あるいは町内会がよくなるように前向きに話し合っていきたい。その中でどちらも受け取るべきものは受け取り、進めていければと思っています。今日は石阪市長、大変忙しい中、ありがとうございます。どうぞよろしく願います。

**○市長の挨拶 (町田市長)**

皆さん、こんばんは。石阪でございます。今日は皆さんお忙しい中、こうやってお集まりいただいたことに感謝を申し上げたいと思います。ありがとうございます。

雨の中、台風20号、21号と2つ来ました。大風は吹かずに1つはもう熱帯低気圧に変わりましたので大きな心配はないのですが、先週の台風19号は相原のほうではかなり大きな崖崩れ等があり、避難をされている方が何軒かあります。また、八王子市では大変なことになっています。日野橋まで橋脚が下がってしまい通れなくなってしまう、かなり大きな災害になっています。町田市は山形県や長野県、山梨県等と災害の協定を結んでいます。長野市とも災害協定を結んでいます、長野市もかなりの水害が出ており、昨日から町田市職員が既に4人現地に応援に入っています。多分これから1カ月ぐらいは応援に入ります。今回は避難施設の運営に行っています。少し先になると、保健師や看護師等の必要が出てきて多分派遣することになると思います。環境資源部は来週あたりから現地に行って、瓦れきの処理をすることになると思います。

実は1カ月前も既に千葉へ環境資源部の職員は行っていますが、被害が少なかったところは被害が多かったところに応援に行くという相互の役割分担になっているのだらうと思っておりますので、しっかりと被害を受けた現地に行くことにしています。逆に言うと、将来何かあったときに、例えば長野から応援に来ていただくこともあろうかと思いますが、そういう意味で災害時は災害を受けていないところ、本市も少しは受けていますが、余り受けていないところが応援に行くという機能がちゃんと動いているのを実感しているところです。

市政の報告については、この後、2部でお時間をいただいておりますので、そこでまたお話をさせていただきます。どうぞよろしく願いいたします。

## ○職員の紹介

### 第1部 地域からの議題に関する意見交換

#### 1 道路施策について

(1)路面標示が薄くなっている所、消えている所が散見されます。どのようなタイミングで再塗装を行っているのでしょうか。

(2)通学路について、カラー舗装してある所があります。どのような基準で実施されているのでしょうか。

(3)ガードレールについて、設置場所はどのような基準で決まっているのでしょうか。また、形状もデザイン性のあるものや植栽など様々です。それらの設置基準などがあれば教えてください。

**【回答】**  
道路部長

(1)

路面標示は、法令に基づき、道路管理者である町田市が設置するものと、交通管理者である警察が設置するものがございます。

町田市が設置するものとしては、車道中央線や車道外側線等の白線で引かれる「区画線」がございます。

警察が設置するものとしては、横断歩道や停止線など、交通規制に関するものがございます。

町田市に横断歩道などの引き直しの通報があった際には、管轄する警察署に申し入れて、対応を依頼しています。

引き直しのタイミングとしましては、点検やパトロール、市民や地域からの通報をもとに、現地調査を行い、交通量や事故発生の危険性が高いと判断した箇所から順次引き直しを実施しております。

特に、子どもの安全を考えて、通学路における引き直しを最優先に行っております。

また、警察に確認したところ、引き直しのタイミングは町田市と同様のことです。

(2)

通学路とは、「交通安全施設等整備事業の推進に関する法律施行令」の中で、児童または幼児が小学校等に通うため、1日につきおおむね40人以上通行する道路の区間で、小学校等の敷地の出入り口から1km以内の区域にあり、通行の安全を特に確保する必要があるものと定義されております。

通学路の設定・変更の権限は各学校長にあり、先ほどの法令等を参考に、地域の実情に応じて、学校ごとに通学路が決められております。

各学校長が設定した通学路で、安全対策の必要があると認められ、次の基準に該当する場合には、路側帯の内側の歩道部分に、緑色のカラー舗装を施工しております。

施工の基準は、1. おおむね40人以上の児童が通学する区間であること。2. 学校敷地の出入り口からおおむね500m以内の区間であること。3. 路側帯を引くことができる道路または既に路側帯が引かれている道路であること。4. カラー舗装について、沿道住民の理解が得られる道路であること、この4つの基準に全て該当した場合、カラー舗装を実施しております。

なお、車道より一段高くなっている歩道が設置されている道路や、ガードレール等の設置により児童の安全が確保されている場合については、カラー舗装は行いません。

(3)

町田市では、法令や国土交通省の「防護柵の設置基準」、東京都の「道路工事設計基準」に基づき、ガードレール等の設置を行っております。

設置場所につきましては、まず、歩行者への安全対策として、車両の走行

速度が高い区間や、交差点、見通しが悪いカーブなどにおける車両飛び込みによる重大事故を防止するため、特に必要と認められる区間に設置するものとしています。

また、乗車している人への安全対策としては、高低差がある区間や、川・水路等に近接する区間等、落下や転落、水没等の危険度が高く必要と認められる区間などに設置するものとしています。

そのほか事故が多発する道路等、その効果があると認められる区間に設置するものとしています。

また、車椅子利用者の通行に十分な幅員が確保できないような場合には防護柵を設置しないこともあります。

形状やデザインについてですが、防護柵には、ガードレール、ガードパイプ、車乗り入れ防止柱（支柱だけのもの）等種類があり、沿道の状況を含めた道路及び交通の状況を総合的に判断した上で設置いたします。

なお、これまでは、白などの目立つ色が使用されていましたが、平成16年に国土交通省の基準の改定が行われ、色彩等について、良好な景観形成に配慮することとされています。

植栽については、法令では、いわゆる幹線道路には植樹帯を設けるものとされ、その他の道路には必要に応じて設けるものとされています。

## 《質疑》

### 弥生ヶ丘自治会

私どもも、町田第三小学校、一部町田第五小学校に通って、見守りパトロール等を行っています。1つは、住民から非常に声が多いのは1番目の道路標示で、一時停止等の標示はあるのですが、住宅地の中に一時停止をほとんどしない車がどんどん入ってきている。本来、私どもの住宅地は通り抜け道路ではないのですが、最近、日向台の規制の関係もあって回ってくる車があります。通勤時間帯と通学時間帯が完全にダブっています。ほとんど一時停止の標示が消えています。1年前に3分の1の地区は塗り直しをしたのですが、あとは残ったままになっている。恐らく10年、20年たっている状況なので、ぜひ再点検して再塗装をお願いしたいと思います。

カラー塗装のところも、車の量が非常に多く、養運寺の正門前等は、私どももあそこまで見守りをやっているのですが、通り抜けの車が非常に高速で走っていて、冷や冷やしながらか見守っている状況です。運転手への徹底をぜひお願いしたいと思います。

### 道路部長

横断歩道や停止線については警察の管轄になるため、私どもから町田警察署へお話をさせていただきたいと思います。場所は弥生ヶ丘の中ですよろしい

ですか。

### 弥生ヶ丘自治会

そうです。あと、町田第三小学校へ下がって、ターンするところが非常に見通しが悪く、道路が三又みたいになっていて子どもたちがへばりついて歩いている感じです。事故がないことを祈っていますが、ぜひミラーの設置、増設も含めてお願いします。もう1つは、住宅地内の一時停止が非常に徹底されていないということです。

### 道路部長

カラー舗装の場所をもう1度教えていただけますか。

### 弥生ヶ丘自治会

養運寺の正面から前のところが今はグリーンの標示はありますが、非常に車の量が多いので徹底をお願いします。

### 道路部長

わかりました。検討させていただきます。

### 地区連合会長

先ほど通報という言葉が出ましたが、通報された場合、どのぐらいの時間で対応できるのですか。市民病院のところの標示がないと先日、道路部に話をして、地元の賛同が要るということで地元も賛同して市とも相談したら、これは南東建に回しますと言っていました。2カ月近くたっても南東建からは何も言ってこない状況です。市としてできるところはプッシュしていただければありがたいと思っています。

また、標示が切れている等の話が出ますが、町田市で毎日何台車が走っているのか。恐らく運転する方、走っている方は、どこが薄いとか消えているというのは気がついているだろうと思います。市の中で情報を共有していただき、市が率先してできるところはやってほしいと思っていますので、よろしくをお願いします。

### 道路部長

施工は要望から3カ月いただいています。専門の業者に外注に出さなければいけないため、調整する期間として長くて3カ月ぐらいいただいています。警察や南東建の関係になると、連絡をしてから3カ月と聞いていますので、そのぐらいはお時間をいただきたいと思います。ただ、本当に緊急で事故があった等の場合は急ぐ場合もあります。市役所の内部でというお話は、おっ

しゃるとおりだと思います。今後、他の部署から通報があれば、道路部で現場を見に行き、引かなければいけないものは早目に引く形でやっていきたいと思っています。

**(司会) 地区連合会副会長**

次に入りたいと思います。2の特殊詐欺被害対策についてお願いします。

**2 特殊詐欺被害対策について**

特殊詐欺被害防止のために、警察では電話番号の変更や留守番電話対応機種を推奨しています。そうした留守番電話対応機種や自動通話録音機、迷惑電話防止機能付き電話機等の購入にあたり、市として購入費用の助成はないでしょうか。

**【回答】**

**防災安全部防災課長**

「犯罪の予防」は警察の責務として警察法に規定されており、国や都道府県の役割とされています。特殊詐欺の対策として、自動通話録音機や迷惑電話防止機能つき電話機等を市民が購入することに対する助成は、「犯罪の予防」にかかわるものであり、東京都が実施主体となり事業を行うべきものです。

このため、町田市は、これまでも東京都に対して繰り返し都が実施主体となるよう要望しており、今年度は、町田市の提案により、東京都市長会が東京都に対し予算化の要望を行っております。

今後、東京都に対して働きかけを行ってまいります。

**《質疑》**

**地区連合会長**

本件については、町田市の町内会・自治会連合会も東京都の都町連に申し入れたり、石阪市長も都に依頼されたりしています。早い時期に返事が戻ってくればと思います。今、町田市で1億8000万円の被害が出ています。今年もワーストスリーに入りそうです。件数も先週84件と聞きました。聞くたびに3件、5件一気にふえて一向にとまらない状況です。実は今日、私が来る前、2時ごろ固定電話に大手の乳業会社からヨーグルトか何かのサンプルを入れさせてほしいと電話があり、どこで電話番号を聞いたかと言ったら、NTTの10年ぐらい前のハローページを持っているそうです。どこから電話番号が漏れているかわからないが、悪い人が利用しようと思えば、どんなことをしてでも電話番号等は知られているので、まず電話に出ないこと、電話番号を変えることと言っています。その辺もしっかり考えながら、被害が出な

いようにしようと思っています。

実は私の住んでいる旭町は先月まで被害がゼロで、2～3年前に防犯防災で警視総監賞を頂戴しましたが、警視総監賞が泣くようなことが1件出ました。とにかく被害をなくしたいと思っていますので、どうぞよろしくお願い致します。

#### **防災安全部防災課長**

おっしゃるとおりです。今後も東京都に対して働きかけは行っていきます。

#### **地区連合会長**

市の車が1日何台市内を走っているかわかりませんが、町内会・自治会によっては青パトを持って回っているところがあります。市の車も何台か青パトにさせていただき、犯罪防止の対策はできないものかと先日も防災課に話をしました。青パトの許可を取るには警察でいろいろあるらしいですが、市と警察と共同して防止を図っていただければありがたいと思っていますので、よろしくお願い致します。

#### **防災安全部防災課長**

青パトの話は、青パトにするには一定の条件があり、その一定の条件を満たす団体としては区市町村も入っています。その他にいろいろな課題等があれば、それを1つずつ考えていきたいと思えます。

#### **(司会) 地区連合会副会長**

次に入らせていただきます。3の市内小・中学校の熱中症対策についてお願いします。

### **3 市内小・中学校の熱中症対策について**

今年5月、七国山小学校児童が、運動会の練習中に熱中症で病院に搬送されました。そうした事態を受け、市内小・中学校ではどのような熱中症対策を行っているか教えてください。また、町田第二地区の各学校のテントの保有数も教えてください。

#### **【回答】**

#### **学校教育部長**

市内小中学校では、熱中症対策として、運動を行う際に暑さ指数(WBGT)を測定し、運動を行うかどうかの判断をしています。また、運動前後の水分補給や、運動中の休憩や水分補給についても徹底するようにしております。さらに、日ごろから水筒を持参させたり、学校便り等を通じて、保護者



にも熱中症についての啓発を図ったりしております。

運動会や体育祭の当日には、一斉に水分補給タイムを設けたり、冷房の効いた教室や体育館を開放したりして、児童・生徒の体調に合わせた対応を行っています。また、児童・生徒席にテントや遮光シートを設置したり、ミストシャワーを設置するなどの熱中症対策を行っています。他にも、つばの大きな帽子や凍らせたペットボトル、冷感タオルを持参させている学校もございます。

ご質問いただいた町田第二区内にある小中学校のテント保有数は、6月末時点で、町田第一小学校4張り、町田第三小学校4張り、町田第四小学校13張り、本町田小学校6張り、本町田東小学校3張り、藤の台小学校4張り、町田第一中学校5張り、薬師中学校3張りになります。

町田第四小学校を除き、全児童・生徒をテントだけで覆う場合には、不足が生じますが、来年度以降の運動会については、近隣校や町内会・自治会などからテントを借用するほか、遮光ネットや新たなテントを購入して対応してまいります。

## 《質疑》

### 弥生ヶ丘自治会

熱中症対策は、市長さんから学校の教室の冷房化率は100%になりましたとお話がありました。予算対効果の問題はありますが、体育館も熱中症の被害が起きる場所と考えると、体育館の冷房化計画はどのようになっているか伺いたいというのが1点です。

もう1点、幼稚園や保育園はほとんど冷房化されていると思いますが、特に幼児は抵抗力がないので、市として各経営者等にどのように徹底、協力要請をしているのか、お伺いしたいと思います。

### 学校教育部長

小中学校の体育館の冷房は、現在計画しており、来年度、中学校については20校中18校、小学校は7校に設置する予定です。2021年度には中学校2校、この2校については他の工事と重なってしまったので1年ずらしています。2021年度には中学校2校、小学校は残りの35校、再来年度で全ての小中学校で体育館の冷房を整備する予定です。

### 地区連合会長

今、表を見させていただいていますが、町田第四小学校が13張り、薬師中学校が3張り、本町田東小学校が3張りというのはどういう差なのか。校長先生の申請によって用意する数が違うのですか。

## 学校教育部長

テントの設置については、学校に配当する予算がありますので、各学校長の判断で、学校ごとにどれにお金を使っていこうという中で、町田第四小学校については、まず全児童が運動会等で座れるテントを整備しました。設置場所等も今は学校によって判断している状況です。この秋に運動会を行った学校が10校ありますが、全てがテントということではなく、遮光シートで日を遮ることはほとんどの学校で行っています。テントと遮光シートを併用する等の工夫もされていきました。春は多くの学校が運動会、体育祭を行います。秋の状況も踏まえ、テントを整備すると保管場所等の問題もありますので、いろいろ考えた中で来年度対応していくことで進めています。

## 弥生ヶ丘自治会

幼稚園や保育園の冷房化に対する市の指導は具体的に何かやっておられるのですか。個々の経営判断なのか、そこだけお伺いします。

## 市民部市民協働推進担当部長

幼稚園と保育園は子ども生活部の担当ですが、本日来ていませんので詳しい内容はわかりません。私も以前、子ども生活部の児童青少年課長でしたが、学童保育クラブ等も各施設の施設長会議、幼稚園、保育園は園長会議等で暑さ対策や熱中症対策について話し合っています。認可の保育園や幼稚園については冷暖房が完備していると思いますが、認可外や認定保育園については詳しくわかりませんので、私どもで子ども生活部に確認させていただき、後ほど会長に連絡させていただきます。

## 東ヶ丘住宅自治会

1つは、先ほどミストというものを学校でもやっているとお話がありましたが、どのようにやっているのか見たことがないので参考にお聞きします。

もう1つは、最近、光化学スモッグは余り聞いたことがないですが、実際に学校では警報等が出ているのでしょうか。

## 学校教育部長

ミストについては、過去は余りなかったのですが、今年の春や秋の運動会では、昇降口に蛇口から水を引いてきて、用務員ができる程度のものですが、昇降口や入退場の門でミストを使用し、子どもたちが少しでも涼しくなるような対応はしています。

光化学スモッグについては、現在も警報は出ているので、学校で気をつけるように指導は行っています。

#### **(司会) 地区連合会副会長**

それでは、次に移らせていただきます。4の市内小・中学校の適正規模、適正配置についてお願いします。

#### **4 市内小・中学校の適正規模、適正配置について**

本町田東小学校の児童数は、市内42校中41番目と非常に少なくなっています。町田市教育委員会として、小・中学校の適正規模や適正配置についてどう考えているか教えてください。

#### **【回答】**

##### **学校教育部長**

2018年度に教育委員会で行った児童・生徒数推計では、2019年度から2040年度までの期間に町田市立小学校の児童が約30%減少、町田市立中学校の生徒が約33%減少することが見込まれています。また、学校施設の老朽化も進んでおり、市立小・中学校62校のうち、2045年度までに55校の校舎が耐用年数の築60年を迎えます。

そこで、将来の市立小・中学校のよりよい教育環境を整備し、充実した学校教育を実現するために今年8月に学識経験者、児童・生徒の保護者、町内会・自治会の代表者、教職員の代表者で構成する「町田市立学校適正規模・適正配置等審議会」を設置して、審議を開始しました。

今年度は、適正な学級数や通学距離・通学時間、学校の位置などの学校配置の考え方について審議会で答申をまとめていただく予定です。その答申に基づいて、教育委員会では「適正規模・適正配置の基本的な考え方」を策定いたします。

2020年度からは、その「基本的な考え方」に基づき、審議会において、学校統廃合を含めた通学区域の見直し案や今後の学校施設にどのような機能が必要かについて、ご議論していただく予定です。そして、2021年4月に答申をまとめていただく予定としております。

#### **《質疑》**

##### **地区連合副会長**

本件は私のほうで出させていただきました。本町田東小学校が随分少ないと思っています。今は学校を選べる時代であり、非常に偏りがあるのではないかと考えています。審議会の審議も含め、地元としてはできるだけなくしたくないと思っています。それがどこまで許されるかは、会議体の中で詰めていただければいいかと思っています。審議会の考え方次第ということによってよろしくをお願いします。

## 学校教育部長

本町田東小学校は非常に児童数が減っているところです。学校が選べるとのお話でしたが、小学生は通学区域緩和制度の中で、隣の学校のほうが通学距離が短い場合、通学距離を含めて隣の学区に希望を出せるもので、小学校はどこでもいいわけではないということです。確かに、現在、児童数は少ないですが、最終的に審議会にご検討いただき、学校の立地や敷地の形も含め、単に児童数が少ないからだけでなく、トータル的に考えた中でご検討いただくと考えています。

## 地区連合会長

審議会のメンバーが発言するのもおかしいが、審議会は20年先を見越してされています。現在、緩和制度により少なくなっている学校、また多くて入れない現実があります。旭町、中町、本町田もありますが、緩和制度を直していくのは大変だと思います。実際に教育委員会の方が現場を見ていらっしゃるのか聞かせていただきたい。今すぐとは言わないですが、1～2年で直せるものであれば直してあげないと親御さんも大変だと思っています。

## 学校教育部長

通学路については、通学路点検という形で現場の職員も確認はしています。緩和制度については、現在、学区の中心に学校がないところが非常に多くありますので、今回の適正規模・適正配置の見直しの中で通学区域緩和制度についてあわせて検討が必要だと考えています。

## 中町中央町内会

私も審議会を傍聴させていただきましたが、私は以前忠生第六小学校の職員で、勤務しているときに同じような状態で、団地の六小、五小、忠生四小が統廃合になりました。審議会でも議論になったと思いますが、小規模校のデメリットばかり強調しないで、小さくなったから行き届いた教育ができる等メリットをもっと強調すれば、団地の中の学校が存続したかなと。学校がなくなったために、団地が寂れて子どもの声が聞こえなくなっていく。地域の活性化を含めて学校があると思います。小規模校のデメリットが強調されると統廃合になっていくと思いますので、メリットをぜひ審議会でも議論していただきたいと要望します。

## (司会) 地区連合会副会長

今のお話は、またいろいろな面で要望する場面で声を上げていきたいと思っています。よろしくお願いします。

次に入らせていただきます。5の市立博物館の跡施設についてお願いしま

す。

## 5 市立博物館の跡施設について

市立博物館閉館後「町田市郷土博物館（仮称）」として現存地に存続させることを要望する請願を市議会に提出、2016年10月4日に採択されました。そこで質問します。

(1) その後の経過がどうなっているか

(2) 同施設を多目的のコミュニティセンターやビジターセンターとして、さらには防災拠点を兼ねた施設として活用できないか

(3) 市と住民との意見交換の場を設けられないか

### 【回答】

#### 文化スポーツ振興部文化振興課長

(1)

博物館の資料のうち、「（仮称）町田市立国際工芸美術館」の構想に含まれない歴史・民俗資料については、2020年度中に教育委員会に移管し、活用を図る予定です。その施設のあり方については、今後の課題です。

(2)

町田市の公共施設については、2018年6月に発表いたしました「町田市公共施設再編計画」に基づき、今後のあり方について総合的に検討を進めているところです。

この計画の中に、現在の博物館の施設を用途を変えて活用することは含まれておりません。

(3)

弥生ヶ丘自治会との連絡会を継続することにより、近隣、地元を初めとした市民のご意見を伺ってまいりたいと考えております。

### 《質疑》

#### 弥生ヶ丘自治会

6月16日、父の日にちょうど博物館がエンディングということで市長さんが来られて、一言ご挨拶させていただきました。ありがとうございます。

折しも5月12日に私どもはあの地区で、まちだ〇ごと大作戦の補助金をいただき、まちだのへそまつりというイベントを行い、約1000人に集まっていたいただきました。来た人の意見を聞くと、遺跡公園があり、すてきな博物館があり、「こんなところが駅前からバス10分ぐらいで来られるところにあっただの、私、知らなかった」という話が結構多かったのです。知らなかったのは残念ですが、来てもらった人がまた来たいという意見で去っていったのはすごくうれしいイベントでした。

博物館、遺跡公園は文化的に非常に高いものが町田市にあるのだな、5500年前から人が住んでいたところにある。山口文象さんがつくった非常にすてきな建物です。ただ残してほしいと言う地元エゴになる意見はしたくないと思っています。何か他の活用ができないか、特に今回のような台風等があったときに、今はできないですが、私たちも避難できるようにしてくださいとの要望が結構私のところに来ました。

特にあそこは標高が100mあり、ハザードマップでは後ろに崖崩れしそうなところがありますが、非常に堅牢な建物です。地元の福祉に活用できる防災拠点に生まれ変われるようなことをぜひお願いしたいと思います。窓口は文化振興課なのか、市民協働推進課なのかわかりませんが、窓口をつくって地元の意見、あるいは町田市の意見としても生かすような道を協議する場所をぜひつくっていただきたいという要望です。

最後に言いたいのは、税金を使って運用するので、地元だけがいいことばかりというのは非常に恥ずかしい話なので、地元としても汗を流す、できることはしたいと思いますので、生まれ変わる施設として残すことを協議できる場をぜひつくっていただきたいというのが今日のお願いです。

#### 文化スポーツ振興部文化振興課長

防災拠点としては、先日の台風時も博物館の今の建物の倉庫に水がしみ出してきたり、長い目で見て使っていくには大幅に手を入れないと難しい状況です。公共施設の計画の中に防災施設のカテゴリーもあります。今はその中には含まれていません。

協議する場所については、弥生ヶ丘自治会との連絡会と称していますが、自治会以外の方も参加されていますので、これを引き続き継続させていただければと考えています。

最後に、土器や民俗資料等は、未来の子どもたちに伝えていく貴重な資源であると思っています。へそまつりにおいでになった方が今まで知らなかったというように、活用が不十分な状況だと自覚をしています。活用のあり方に関しても、教育委員会に移管するプロセスの中で、皆様のご意見も踏まえ、どうやってもっと知っていただく、見ていただく、触れていただくことができるか議論を深めていきたいと思っています。

#### 弥生ヶ丘自治会

最初に本件を請願した際には、町田市郷土博物館として残してくださいという請願だったと思いますが、その後、いろいろな住民の方と話す中で、あの施設の後の使い方について皆さんいろいろな期待を持っていて、いろいろなアイデアが出てきました。一般市民、住民の福利厚生に資する要望を入れていかなければいけないだろうということで、今回出しているコミュニティセ

ンターやビジネスセンター等、多角的な利用ができる施設として生まれ変われたらいいのではないかという方針に転換しました。

著名なコミュニティデザイナー等の考え方では、地方の公共施設の今後のあり方として、あらゆることが可能な可変的、流動的な広場を目指すことがよく言われています。恐らく市役所の1階も、多分そのようなコンセプトでつくられた広場ではないか。今後の公共施設の使い方は、そのようなことになってくるのではないかと思うが、まさに博物館は天井が非常に高く、垂直展開、いろいろな利用の仕方があり、柱が全くないので、多様な使い方ができます。今度はあそこから全てのものが出ていくと、ある意味で非常にチャンスです。要するに、1つの目的を持ってつくったものは、それ以外に使い勝手が悪いのですが、臨機応変に時代のニーズ、住民の要望に合った使える施設に変わっていける要素をあの施設は持っていると思います。

逆にマイナス面から後ろ向きに考えると、あの施設を万一壊すようなことになったら、どれくらいのお金がかかるのか。アスベストの問題はどうか、あれを建てる時にはわざわざバイパスをつくりました。車が出入りするので、住宅にいろいろな被害がある等の問題も出てきます。マイナスの話題より、逆に明るい前向きな話題に展開していくように、ぜひ市長のリーダーシップでよろしくお願いいたします。

#### **文化スポーツ振興部文化振興課長**

それぞれの施設には施設がある地域の皆様の思い、愛着があることはとても理解できる場所ですが、公共施設再編計画をつくったときの考え方として、将来に負担を残すことなく、今までと同じ数や機能を維持していくことはできないということがあります。

アイデアがたくさんある中で1つの例で答えてしまって恐縮ですが、計画の中では、コミュニティセンター等の集会施設に関しては集約化、複合化、多機能化で総量の圧縮を図るという考え方があります。博物館については、工芸美術作品を芹ヶ谷公園の中に計画中の国際工芸美術館に移し、歴史・民俗資料は教育委員会に移管して活用していく方向性を出したところです。恐縮ですが、どうぞご理解いただければと思います。

#### **(司会) 地区連合会副会長**

継続ということでは、我々町田第二地区連としても支えていきたいと思っていますので、よろしく願います。

#### **市民部市民協働推進担当部長**

先ほどの保育園、幼稚園のエアコン設置について担当者に確認したところ、基本的には保育園、幼稚園にはエアコンが設置されています。現在、特

に設置要望等はないので問題ないのではないかと認識しているとのことです。また、違う情報があればご連絡します。

## 第2部 市政全般に関する意見交換

### 市長からの市政報告

市政報告を行いますので、よろしく申し上げます。

今までの議論、本当にありがとうございました。最初の問題から最後の問題までいろいろな問題が中にあり、簡単なものではないと思っています。

1番目の道路の白線の問題でも、私は朝、2日に1遍ぐらい広袴・真光寺の区画整理の中を走っています。もう40年ぐらいたって白線等は全くない。40年間1度も引き直したことがない。外側線といって道路の歩道と車道の間には1本、1m幅ぐらいの白い線があります。30年前とか40年前にはあったのだろうという痕跡だけ残っていて、残っているところがほとんどない。あれをやっていると何億円かかるかわかりません。

というのは、どこの住宅地も最初は市が開発条件としてきちんと線を引きなさい、警察と協議してやりなさいと言ってできるのです。その後、人通りの多い横断歩道と一時停止はやり直しますが、道路の外側線は市がほとんどやっていないのです。要はお金がないだけですが、町田市道に限って言えば、市域全域がほとんど消えているのが実情です。市道でも都道もそうですが、1回舗装の打ちかえをすると、もう1回きれいにし直します。打ちかえも20年、30年に1回ですから、できればあと20年待ってもらいたいという話ばかりなのです。実際に道路に穴があいていればすぐ対応しますが、線をさっさとやらないのはお金の問題です。

学校や建物の補修経費が毎年何億円も増えていますが、建物、道路、水道、駅のデッキ等も補修が必要です。さびが出ているにもかかわらず、やらないくらい補修経費を削っています。削っている人は私ですが、そこへお金が回っていないのが実情です。何とかして維持管理費を増やしていこうとしますが、限界があるので、なかなか道路等の施設の維持管理費はたくさん増やせない状態にあります。やっこの間、室内プールの施設設備や天井を直しましたが、約19億8千万円かかりました。1個直すと、それくらいお金がかかりますので、今は施設をつくるのではなく、維持するためにどんどんお金がかかる時代になっていることだけのご理解いただきたいと思います。

おかげさまで小・中学校の体育館の冷房も2020年度、2021年度で全部終わります。この間、新聞に出ていたのでは、学校で勉強している子どもたちの教室の冷房、町田市は7年前に終わりましたが、全国では終わったのが70%ぐらいいです。町田市が7～8年前に終わった教室の冷房を全国が今やっているテンポです。体育館までやっているところは本当に少ないですが、町田市



はそこまでやっています。1つは、避難施設として使うので、熱中症等いろいろな問題で災害ではなく避難施設に行って亡くなってしまうケースが起きますので、これは急務だと判断して今やっている最中です。

以上は第1部の補足です。

最近の市政の中では、まず去年から行っているまちだ〇ごと大作戦が、おかげさまで大分自主的な提案が多くなり、盛んになってきてありがたいと改めてお礼を申し上げたいと思います。直接皆様にお話をしたことはないですが、とにかくやりたいこと、やりたかったことをやれるようにしようというのが行政の仕事です。邪魔をしない、場合によってはお金を出す、あるいはメディアに載せてもらう活動をする。今日も資料を入れてありますが、かなりたくさんの活動をしていただいています。

ここで1つだけ企画のポイントにしたのは、町内会・自治会だけではうまくない。今までつき合ったことのない人たちと組んでほしいとお願いすると、町内会・自治会の活動についても宣伝できるし、新しく活動する人たちのサポートもできます。今までの町内会・自治会だけの枠を超えてほしいとお願いしています。いろいろな人がいろいろな人と組み合わせさせて、いろいろなことを行う企画は何とかうまく進み始めたと思っています。

まちだ〇ごと大作戦の次に、地域サポートオフィスの「サポートオフィス通信 Vol.2」が配られていると思います。それぞれの団体ではできないこと、あるいは町内会・自治会独自ではやり切れないところは、サポートオフィスがお手伝いしますという趣旨でできています。したがって、町内会・自治会に限ったサポートではありませんが、サポートしましょうと今年4月からスタートしています。4ページにも講座のスケジュール等も入っていますが、町内会・自治会、NPOや市民団体も、サポートオフィスを使って新しいノウハウを得てもらうことを広げていこうという趣旨でつくっています。今回の1ページ目は若者支援の話が出ていますが、今までなかなかやれなかった試み等も、こういうところの援助を受けてできるようになりましたので、紹介させていただきます。

全然違う話ですが、おとといドイツから帰ってきました。週の頭にドイツに行き、ユニセフという国連児童基金の子どもサミットに参加しました。私は子どもサミットではなくて、首長会議に出てきました。英語があまり得意ではないので、通訳の人についていただきましたが、全世界の人たちと子どもの虐待防止等について、なぜ起こるのか、どうやったら止められるか議論してきました。町田の子どもたちが2人、私たちと一緒にいき、子どもサミットに出ました。真光寺中学の1年生の女子、海城高校の男子の2人が町田から行きました。日本から行ったのは町田だけなので、日本では子どもにやさしいまちづくりでユニセフと一緒にやっているのは奈良等を含めて5つしかないのですが、たまたまなのか他が行けなくて、私どもに白羽の矢が立ち

ドイツに行くことになりました。

びっくりしたのは、真光寺中学のこの間まで小学生だった子がずっと年上の子の全部の代表で最後の演説をしていました。流暢な英語で私にはよくわからなかったのですが、演説をしていました。町田の子が世界のユニセフの子ども会議の締め演説をしていましたので、すごいなと思いました。そこから帰ってきて、やっと今日あたりで時差ぼけが治りそうな状態です。子どもにやさしいまちづくりで町田市が行っているのは、中学生とか高校生の若者が市長と語る会をしていること、11月に行う事業評価に高校生が参加していること、子どもたちが市政に直接意見を言える場をきちんとつくっている自治体はあまりないのです。首長会議で聞いても、他の国ではやっていないようです。町田市がユニセフの会議に来てほしいと言われたのは、多分その部分が一番大きいと思います。

もう1つは、大型児童館の子どもセンターと普通の児童館をたくさんつくっているのが大きな評価になっています。それから、冒険遊び場、さらには学校を使って放課後を過ごす「まちとも」、そして学童保育クラブ、つまり、子どもが学校を終わった瞬間に何をするかを選択肢がたくさんあるところが子どもにやさしいまち、子どもの居場所も一定の評価を得たのではないかと思います。

保育所の待機児童ですが、127人が4月1日の数値です。その後に越してきたり生まれたりしていくと、4月1日で埋まっていますから、どんどん待機児童はふえてきます。翌年4月1日には、また学年進行で抜けて待機児童が減るという繰り返しですが、4月1日時点で127人で去年より約20人減っています。ただし、来年はゼロになるには間に合わないので、再来年4月0の目標で保育所の整備をしています。1園だけフルラインナップで0から5歳まで6学年で100人、3歳以上の待機児童はいませんし、空きがあるので、それ以外の0、1、2歳だけを一生懸命つくっています。来年整備にかかり、実際に待機児童の解消が目指せるのは再来年、2021年4月です。なかなか解消しない、つくればつくっただけ新しい需要を掘り起こしているところもあり、解決していません。

それから、この10月から、3歳から5歳は保育料の無償化がスタートしています。月謝が高いところはただではないのですが、ある一定のところまではただになっています。正確な数字ではないですが、月額3万7000円以上は払うことになり、4万円だったら3000円払うことになっています。0、1、2歳は無償化ではなく、所得制限の中におさまっている方は無料です。ある一定の所得のある方は0、1、2歳は無料ではありませんが、10月から制度がスタートしています。

子どもの話では、町田第一中学校は今建替え中ですが、22カ月後の9月、2学期から新校舎に入ります。それまでの授業及び部活動等は後田グラウン

ド及び中町グラウンドを使い、学校ではプレハブで過ごしています。今の1年生は3年生の2学期から入りますが、その他の子は卒業してしまいます。ただ、町田市の最大の事業費50何億円、他の学校よりも多くの予算をかけています。ここは伝統校でもあるし、マンションがたくさんあって非常に大きな学校になっていますので、それだけの費用がかかっています。

小学校も去年から英語の授業を始めました。「えいごのまちだ」と言いながらやっています。情報化は、5人に1つぐらいタブレットを使って授業を行っています。町田第五小学校と小山ヶ丘小学校と堺中学校は最大学年人数分のタブレットを配備しており、学年によっては1人1台ですので、相原小学校から堺中学校へ行く子どもが困ります。同じ学区で、相原小学校は学校に40台で常時1人1台活用する環境にない、小山ヶ丘小学校は学校に120台で1人1台が活用できる機会があって、堺中学校では約200台で常時的に1人1台での活用になると、相原小学校から行った子はどうするのか心配していますが、いずれにしても、1人1台でテストが始まりました。タブレットについては文部科学省からは一円も来ません。指導要領でやりなさいと指示は来ますが、お金は全然来ません。地方交付税の財政基準需要額に入っているから特別に渡さないと言われていて、結局市費で今整備しています。

教員の負担軽減も、いろいろなところがありますが、今年4月から出退勤管理システムが導入されて、どれぐらい残業したかが記録されるようになりました。実際に聞いてみると、出退勤管理システムが入ったから残業がなくなるわけではなくて、残業がしっかり記録されるだけだとの説もあります。例えば中学では部活動指導員を雇用していますが、全ての部活に行き渡るわけではないので、行き渡らない先生は部活の指導が終わってから自分の担当の仕事の整理を始めます。部活動指導が仮に午後6時に終わったら、それから残ってやるので午後8時になってしまう。実際にそうになってしまって、毎日それをやっているのです。残業がきちんと記録されている。今までは記録されなかっただけの話です。部活動指導員を何倍も入れないと、その部分は解決しないのです。ただ、全中学校に配置できるように予算措置をしていますが、指導できる人材が足りない状況です。

それから、副校長補佐も配置しています。今11校で、毎年増やしていきませんが、副校長は忙しいのです。一番大変なのは地域の方からいろいろな要望があり、大体副校長が受けます。防災訓練や何か準備をするのは副校長ですが、副校長をやらないと校長にはなれないのです。だから、最近、副校長のなり手がいなくなっていました。定年を過ぎてまた再任用校長をやっている人がいます。後の人が来ないとやめられないらしいのです。副校長が忙しいから補佐する人を配置しているのですが、まだ足りない。

つまり、教員の働き方改革と言っていますが、それを改革するにはサポートする人をもっと入れなければだめなのです。わかりやすく言うと、例えば

お医者さんは今まで自分でカルテを書いたりしていましたが、今はカルテを書く人は別にいて、お医者さんは書かないのです。医者は診断、治療に専念できるように、サポートする人たちが増えています。ですので、同じような体制をつくらなければいけないという感じを持っています。

特別養護老人ホームについては、昨年度の数字で入所申し込みから1年以内に入所した市民の割合が9割です。10年前に45%だったのが今は90%ですから、ほとんどの方は1年以内に特別養護老人ホームに入所できる状況になっています。特別養護老人ホームの入所には入居保証金等は一切ありませんので、月々の費用だけです。食費、部屋代、介護サービス費全部含めて1カ月15～16万円です。もちろん、嗜好品は実費負担です。東京23区の場合は、栃木県、群馬県で、東京23区内で特別養護老人ホームに入所することが難しい状況です。町田市の場合は、市民が市内の特別養護老人ホームに入所できるようになりました。

最後に、2カ月ぐらい待ちますと新しいハザードマップを印刷してお配りできるようになると思いますが、東京都が去年、新しい浸水予想区域図を出しました。今回、その一部の町田駅から東方向に地図をとっていますが、青くなっているところは境川の部分です。黄色いところが10cmから50cmぐらい、だんだん濃くなって、線路の脇のところで紫とか青になるのは3m～5m、あるいは5m以上が赤紫です。ヨドバシのあたりは紫、森野のあたりはブルーです。水色は2m～5mです。前回よりも少し計算の範囲が狭くなり、刻みも多くなったので、もう少しわかりやすくなるかと思います。12月には何とか配れるようになると思います。

大変長くなりましたが、報告をさせていただきます。

## 《質疑》

### 中町中央町内会

今日の配付物の「ぷらっと」に図書館のことが書いてあります。公共施設の統廃合の計画に、実は中町二丁目にあるさるびあ図書館を中央図書館と合併させようという話が俎上に上がっています。地域の立場として、いろいろ皆さんから意見を寄せられたりしています。昨年3月23日に本会議で請願について、全員一致で存続の承認をいただいています。この資料を見ると検討しておられると進行形のようなので、別な角度からお話しさせていただきたいと思います。

さるびあ図書館は町田市で一番最初にできた図書館です。俎上に上がっているのはわかっていますが、市役所も将来を見越した場合、統廃合は当然考えなければいけないと思います。特に図書館関係については、先ほど博物館のことも出ましたが、教育に一番大事な施設です。中央図書館とさるびあ図書館をここ1～2週間、毎日のように見させていただいています。中央図書

館は、2階から4階までエスカレーターで上がっていきますので、バギーカー等では上がりません。もちろん、エレベーターで行くことはできます。大きさは当然中央図書館のスペースが大きいですし、6階まであって自習室もあります。さるびあ図書館は自習室も土曜、日曜はほとんど満員の状態で、子どもたちもかなり来ています。土日は、開館時間は10時からですが、9時40分か50分ごろから並び出し、大人も子どもも大勢来ています。

検討されているようですが、できれば今の状況と、今後、今検討されているメンバーに地域の人を一人でも加えていただくことができないのかどうかお聞きしたいと思います。地域の状況をつぶさに報告していかなければいけないと思っています。保健所の外壁の改修工事をやっていますし、先日はすみれ会館の工事もやられました。かなり耐震構造もよくないと聞いていますので、複合施設等をつくられるのであれば、今の形で残してほしいとは言いませんので、図書館機能をぜひ残していただきたいというのが強い希望です。

教育施設であることを十分ご検討いただき、大事な施設ですので機能は残していただきたい。中央図書館まで皆さんが行くのは遠いですし、子どもさんのお母さん方は、あちらは少し怖いと言っています。防犯上のこともありますので、ぜひその辺をご検討いただければありがたいと思って意見を出させていただきました。よろしく願いいたします。

## 町田市長

ありがとうございました。「ぷらっと」の左に、今年、生涯学習審議会から出てきた方向性を書いています。おっしゃるとおり、鶴川の団地の中のものとは鶴川駅前、今のさるびあ中央図書館、合併といっても小さいほうはなくなる形になり、そういう形の教育委員会としての方向性が出ているわけです。

ただ、ここにも吹き出しで書いてありますが、どのように機能を維持するかが一番大きな課題で、何を残し、何は諦めるかの選択を機能としてしなければいけない状況になっていると思います。ただし、今のさるびあ図書館については、図らずも今ご指摘があった保健所や子ども発達センター、某町内会館も中に入るのでね。結局、全ての建物が古くなっていますので、事業の再開発をそろそろ考えなければいけない時期に来ていると思っています。

ですから、図書館もその中にあり、あの地区については一旦リセットする。置いてある機関車をどうするか知りませんが、一説によると古くて動かそうとすると壊れるという説もあります。それも含め、あそこのブロックそのものをやり変える方向に多分なると思います。ここには何も書いていませんが、実際上は手をつけようとする、そうせざるを得ないと思います。その段階でも議論が当然あるし、今の段階でもあります。そういう意味で地域の皆さんの意見は、審議会の委員になるということではなく、しっかりお聞きして

やらせていただきたいと思います。何を残し、何を諦めるか、これからも皆さんの意見を聞きながら、機能をどうするか議論をしていきたいと思っていますので、よろしくお願いします。

**○閉会の挨拶（町田第二地区町内会・中町中央町内会）**

本日は、本当にお忙しいところ、市長を初め市役所の皆さん、ありがとうございました。皆さん、ありがとうございました。

これをもちまして、2019年度町田第二地区町内会・自治会連合会の市政懇談会を終了させていただきたいと思います。本当に本日はありがとうございました。

以上